



福山市立城西中学校

校長だより

2025年(令和7年)6月17日



粹 ～ ころあたたまるメッセージ ～

プロ野球は交流戦が繰り広げられています。

「ファイターズ 対 カープ」のカード最終戦は、8対7のいわゆるルーズベルト・ゲームでした。

一番面白い試合展開と言われるスコアですが、カープファンにとってはとてもつらいものでした。

その試合終了後のことです。エスコンフィールド(球場)の大型ビジョンには、球場スタッフ一同からの「カープファンへのメッセージ」が映し出されようです。

広島東洋カープファンの皆様へ

皆様の本拠地・マツダスタジアムは、単なる野球場を超えて、広島という街そのものの表情を映し出しています。

その日の天気よりも、試合の勝ち負けが話題になる日常に、私たちは何度も胸を打たれてきました。

カープを通じて街がひとつになる。

その姿は、まさに「地域とチームの理想の姿」であり、私たちが目指す未来でもあります。

私たちも、「ファン・地域・チーム・球場」が一体となった、地元で愛される存在を目指して、これからも挑戦を続けてまいります。

また、エスコンフィールドでお会いできる日を楽しみにしております。

この度は、エスコンフィールドにご来場いただき、誠にありがとうございました。

球場スタッフ一同

カープからすると「敵地」にもかかわらず、真っ赤に染まったスタンド。

明治時代、広島県出身者が入植して礎を築いたといわれる「北広島町」に、このエスコンフィールド(球場)があります。また、この街は、カープとの交流を続けてきた歴史があります。

ある意味、このカードは、両チームによる歴史的な「広島ダービー」だったのかも知れません。

来客者に対する感謝の気持ちとともに、歴史を考え、広島をリスペクトする気持ち…

「粹」な計らいを知り、ころあたたまりました。